

Ultra ATA HARD DISK DRIVE

LHD-DAAK Series

内蔵型ハードディスク

ユーザーズマニュアル

目次

取扱い上のご注意	1
はじめに確認しましょう	5
同梱品の確認	5
本製品を使用できるパソコン	6
137GB 以上の内蔵型ハードディスクを使用する場合	8
付属 CD-ROM の使い方	10
ハードディスクをパソコンに接続して使用する	12
作業手順の確認	12
交換：HD 革命 /CopyDrive でシステムデータを乗せ換える	14
接続例	22
増設：ハードディスクのフォーマット方法	25
Windows 環境の場合	25
Mac OS X 環境の場合	29
Mac OS 9 環境の場合	32
補足説明	34
付属ソフトウェアについて	34
シリアル番号について	36
ジャンパスイッチの設定について	37
ハードウェア仕様	38

オンラインユーザー登録のお願い

弊社 Web サイトより、ユーザー登録いただくことをお薦めします。

L-site <http://www.logitech.co.jp/>

登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。






取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・ 本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・ 本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・ この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
		三角のマークは何かかに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。
		丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
		塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告



接続 / 取り外し時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続する時や取り外しを行う時には、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



分解禁止

分解 / 改造しないでください。

本製品は絶対に分解しないでください。故障、感電、火災の原因となります。分解の必要が生じた場合は、販売店にご相談ください。分解を行った場合は、修理を受け付けない場合がございます。



その他の
禁止事項

内部に異物を入れないでください。

本製品内部に水などの液体や金属片を入れると、故障、感電、火災の原因となります。



その他の
強制事項

本製品の取り扱いに際しては、ご使用のパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーの警告・注意事項に従ってください。

パソコンにはそれぞれ固有の注意事項が存在する場合があります。また、周辺機器との組み合わせでの仕様により、特有の注意事項がある場合があります。必ず事前にこれらの警告・注意事項を確認し、実際の取り扱いの際には厳守してください。



感電注意

接続時、感電 / 火傷等に注意してください。

- ・ パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。



高温注意

- ・ 電源OFF直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPUなど）があります。火傷しないように注意してください。



ケガに注意

- ・ パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないで下さい。

機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



水場で使用しないで下さい。

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないで下さい。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



注意



その他の
強制事項

静電気対策をしてください。

本製品およびパソコン本体内部には、静電気に弱い部品が使用されています。接続 / 取外しの前にパソコン本体の金属が露出している部分に触れて、体内の静電気を放電してください。また、内部の不要な部分にはなるべく触れないでください。



その他の
強制事項

データのバックアップを取っておいてください。

ハードディスクドライブは消耗品です。不適切な使用や電氣的のノイズ・静電気による障害、強い衝撃、落雷などの天変地災などにより故障する場合があります。重要なデータは万が一に備えて必ず他のメディアへバックアップを取っておくようお願いいたします。

不適切な使用やこしょうの結果生じたデータの直接的または間接的な障害については弊社では一切の保証をいたしません。

また、本製品内に保存したデータの消失につきましては、いかなる運用形態にかかわらず、弊社では一切その責任を負いません。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



コネクタなどの接続端子や基盤に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等)への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での(海外に対してを含む)サービスおよび技術サポートを行っておりません。

本書で使用する略語について

Windows XP

Microsoft® Windows® XP Professional / Home Edition を略して Windows XP と表記します。

Windows 2000

Microsoft® Windows® 2000 Professional を略して Windows 2000 と表記します。

Windows Me

Microsoft® Windows® Millennium Edition を略して Windows Me と表記します。

Windows 98 Second Edition

Microsoft® Windows® 98 Second Edition を略して Windows 98 Second Edition と表記します。

内蔵型 HD

UltraATA インターフェース (E-IDE) を搭載した内蔵型ハードディスクを省略して内蔵型 HD と表記します。

SCSI インターフェースを装備した物は本書では想定していない点にご注意ください。

商標について

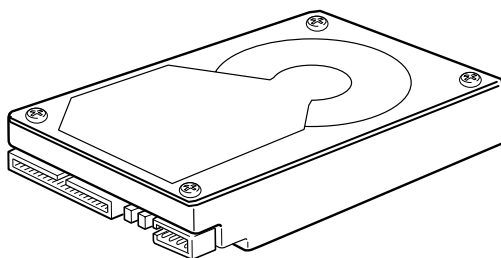
Microsoft®、Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国での商標または登録商標です。Macintosh、Mac OS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名などは各社の商標または登録商標です。

はじめに確認しましょう

このたびは弊社製内蔵型ハードディスクドライブをお買い上げいただき誠にありがとうございました。ここでは、本製品をパソコンに内蔵する前に確認する必要のある基本事項についてご説明いたします。ご使用前に必ずご確認ください。

同梱品の確認

箱の中には以下の物が同梱されています。ご使用前に必ずご確認ください。同梱品に不足のある場合はお問い合わせいただいた販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。



ハードディスク 1台



取付用ネジ 4本



HD サポートディスク 1枚
(Windows 環境専用)

- ✓ 内蔵型ハードディスクユニット・ユーザーズマニュアル 本書
(保証書を巻末に含む)

本製品を使用できるパソコン

本製品でサポートするパソコン・OS は以下の通りです。

接続可能なパソコン

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	Power Mac G4 (Cube を除く)

Ultra ATA インターフェースを装備し、パソコン本体が本製品のディスク容量に対応している機種に限ります。また、137GB以上のハードディスクを使用するには、パソコン本体が「BigDrive」規格に対応している必要があります。

IDEフラットケーブルに空きがあるか、別途IDEフラットケーブルが必要になります。増設する場合は、ドライブベイに空きが必要です。

PowerMac G4 をご使用のお客様へ

Power Mac G4 で 137GB 以上のハードディスクを使用する場合は、Power Mac G4 (FW800) M8839J/A, M8840J/A, M8841J/A、Power Mac G4 (Mirrored Drive Doors) M8573J/A, M8689J/A, M8787J/A, M9145J/A, M9309J/A のみ対応可能です。

また以下の機種ではノイズなどの問題から、増設・交換ができません。

Power Mac G4 (PCI Graphics)	350MHz (M7826J/A)
Power Mac G4 (PCI Graphics)	400MHz (M7631J/A)

対応 OS

Windows XP Home Edition/Professional Service Pack 1 以降 1
Windows 2000 Service Pack 3 以降 2
Windows Millennium Edition
Windows 98 (Second Edition 含む)
Mac OS X 10.4 以降
Mac OS X 10.1 ~ 10.3.9
Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2

共通

- ・ いずれも日本語 OS に限ります。また、パソコン本体が対応していない OS では使用できません。認識される容量および1パーティションの容量は、OSの仕様に準じます。
- ・ 各 OS を本製品へインストールする方法は、それぞれの OS により異なります。そのため、弊社では本製品への OS の新規インストールはサポートしていません。

- 1 Windows XP または Windows 2000 環境で 137GB 以上の容量の製品をご使用の場合は、上記条件をご確認のうえ、次の「137GB 以上の内蔵型ハードディスクを使用する場合」を参照し、必要な条件及び注意事項を十分にご確認ください。
- 2 Windows Me、98 は、ファイルシステムが FAT32 である必要があります。
- 3 Windows 98 環境で添付のフォーマッタを使用しないでフォーマットを行う場合、FDISK のアップデートが必要です。
- 4 Mac OS X で 137GB 以上のハードディスクを使用する場合は、10.2.3 以降が必要です。
- 5 Mac OS 9 で 137GB 以上のハードディスクは起動ディスクとして使用できません。

137GB 以上の内蔵型ハードディスクを使用する場合

ここでは、Windows XP、2000 環境で 137GB を越える容量の内蔵型 HD ドライブを使用する場合に必要な確認および設定事項に関してご説明いたします。

Windows XP をご使用の場合

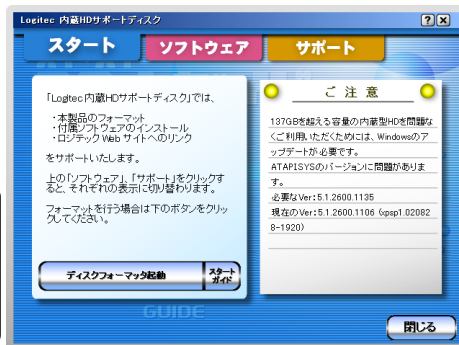
必須条件

- ・ 対応バージョン： Windows XP ServicePack 1 以降（ServicePack 2 以上を推奨）
- ・ BIOS が BigDrive 対応（48 ビット LBA）していること。
- ・ 137GB を越える容量の内蔵型 HD をご使用の場合は、Atapi.sys のバージョンが 5.1.2600.1135（Windows XP 64-Bit Edition の場合は 5.1.600.1152）以降であること。（ ）

Atapi.sys ファイルは、ATAPI ドライブを制御するシステムファイルです。このファイルが上記バージョンでない場合、たとえ ServicePack 1 を導入していても、137GB の容量を越えるハードディスクを使用しているとパソコンがスタンバイまたは休止状態に入った場合やメモリダンプの書き込みでハードディスクが破壊される可能性があります。詳しくはマイクロソフト社の Web サイトより文書番号 331958（<http://support.microsoft.com/kb/331958/>）「スタンバイまたは休止状態に入った場合やメモリダンプの書き込みでハードディスクドライブが破壊される可能性がある」をご参照ください。

参考：

ServicePack1 を導入しているパソコンで、Atapi.sys のバージョンが古い場合、付属の CD-ROM をセットすると右の画面が表示されます。



Atapi.sys のバージョンが条件を満たしていない場合は Microsoft 社のダウンロードセンターより、修正プログラムをインストールしてからご使用ください。インストール方法については Microsoft 社の Web サイトをご参照ください。

BIOS が「BigDrive」に対応していない場合、弊社製インターフェースボード「LHA-BIG133」を使用することにより問題を解決することができます。

Windows 2000 をご使用の場合

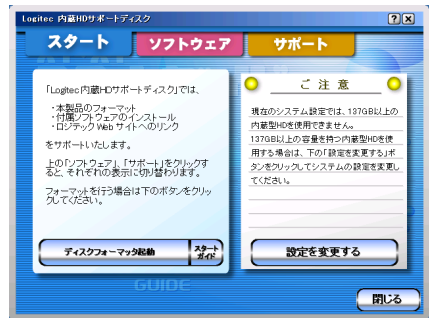
必須条件

- ・ 対応バージョン： Windows 2000 ServicePack 3 以降
それ以前のバージョンではご使用になれません。

137GB以上の内蔵型ハードディスクを使用するための準備

お買い上げいただいた内蔵型ハードディスクの容量が 137GB を超えるモデルの場合、ハードディスクの容量を全て使用するために、以下の確認・設定作業が必要になります。

1. 付属の「HD サポートディスク」をパソコンにセットします。
2. 右の画面が表示されますので、「設定を変更する」ボタンをクリックしてください。



この画面が「設定を元に戻す」ボタンになっている場合は、作業は必要ありません。

3. 設定が適用され、ボタンが「設定を元に戻す」と表示されます。これで 137GB 以上の内蔵型ハードディスクを使用する準備が整いました。



参考

- ・ この作業は、48 ビット LBA (論理ブロックアドレッシング) を有効にし、28 ビット LBA の限界 (137GB) を越える容量を一つのパーティションとして使用させるために必要です。

一連の作業では、Windows レジストリの EnableBigLba の値を変更して 48 ビット LBA (論理ブロックアドレッシング) を有効にします。

なお、パソコン側の BIOS が「BigDrive (48 ビット LBA)」に対応していない場合には、28 ビット LBA の限界 (137GB) を超えてパーティションを作成することはできません。

詳しくはマイクロソフト社の Web サイトより文書番号 305098 (<http://support.microsoft.com/kb/305098/>) をご参照ください。

BIOS が「BigDrive (48 ビット LBA)」に対応していない場合、弊社製インターフェースボード「LHA-BIG133」を使用することにより問題を解決することができます。

付属 CD-ROM の使い方

(Windows 環境のみ)

本製品に付属の「HD サポートディスク」CD-ROM には、Windows 環境用の便利なソフトウェアが収録されています。

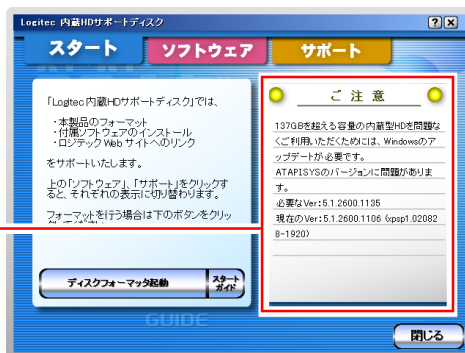
「スタート」画面について

本製品を接続する前に、ご使用のパソコン上で Windows のシステムを起動し、「HD サポートディスク」を DVD/CD ドライブにセットしてください。

以下の画面が表示されます。

「HD サポートツール」が、ご使用中の環境を調べ、右側の欄に必要なメッセージを表示します。

この部分のメッセージに注目！



この画面からは内蔵型ハードディスクのフォーマットと 137GB 以上の容量の内蔵型ハードディスクの使用に関する確認が行えます。

フォーマットに関しては「ハードディスクのフォーマット方法」をご参照ください。

ソフトウェアのインストールについて

「HDサポートディスク」CD-ROM内に収録されているソフトウェアをインストールするには、前頁の「スタート」画面から「ソフトウェア」タブをクリックして画面を切り替えてください。

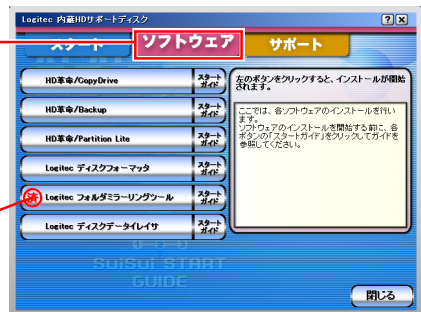
以下の画面が表示されます。

インストールしたいソフトウェアのボタンをクリックすると自動的にインストールウィザードが起動しますので、画面の指示にしたがい、インストール作業を行ってください。なお、インストールの際にシリアル番号の入力が必要な製品については、「補足説明」の「シリアル番号について」を参照してシリアル番号を入力してください。

1. 「ソフトウェア」タブをクリック
2. インストールしたいソフトウェアのボタンをクリック

参考：

システムにインストールされたソフトウェアは「済」というマークが付けられます。



ハードディスクをパソコンに接続して使用する

ここでは内蔵型HD(本製品)をパソコンに接続して使用するための手順についてご説明いたします。ご使用の環境に該当する部分をご確認ください。

作業手順の確認

Macintosh 環境の場合

1. 接続について

内蔵型 HD (本製品) を Power Mac G4 シリーズへ接続する場合の手順については、ご使用の PoweMac G4 に付属のマニュアル内の「コンピュータの内部を扱う作業」 - 「内蔵型記憶装置を取り付ける」をご参照ください。

取付けの際は、使用環境に合わせて、本製品のジャンパースイッチの設定を「マスタ」「スレーブ」のいずれかに設定する必要があります。

2. フォーマット方法について

Macintosh環境でのフォーマット方法については、本書の「ハードディスクのフォーマット方法」内の「Mac OS X の場合」または「Mac OS 9 の場合」をご参照ください。

Windows 環境の場合

内蔵型 HD（本製品）をパソコンに接続する手順は、OS や使用目的により異なります。

弊社では、以下の 2 つの方法についてサポートしております。

1. 本製品を増設用ハードディスクとして使用する

この場合は、本製品を IDE フラットケーブルのあまっているコネクタに接続し、ハードディスクのフォーマットを行ってください。本書内の以下のトピックをご参照願います。

「接続例」 「増設：ハードディスクのフォーマット方法」を参照

2. 本製品をもとからあるハードディスクドライブと交換する。 （システムデータの乗せ換え）

この場合、もとからあるハードディスクドライブのシステムデータを付属のソフトウェア「HD 革命 /CopyDrive」を使用して本製品にコピーします。

「交換：HD 革命 /CopyDrive でシステムデータを乗せ換える」をご参照ください。

ご注意

各 OS を本製品へ新規にインストールする方法は、それぞれの OS により異なります。そのため、弊社では本製品への OS の新規インストールはサポートしていません。

各パソコンメーカーから発売されている Windows OS 組み込みパソコンの場合、一般的にハードディスクの乗せ換え・増設は、メーカーから補償を受けられなくなります。

交換：HD 革命 /CopyDrive でシステムデータを乗せ換える

本製品を元々パソコンに内蔵されている起動用ハードディスクドライブと交換し、システムデータの乗せ換えを行う場合、4つのステップを踏む必要があります。ここでは各ステップを順番に説明しますので、順を追ってご参照ください。



ご注意

システムデータのコピーには、お客様の環境や、システムデータの容量によりませんが数十分から数時間の時間を要します。

Step

1

本製品を接続する前に以下の手順でHD 革命 CopyDrive を、システムにインストールします。インストール手順は以下をご参照ください。

インストール手順

1-1

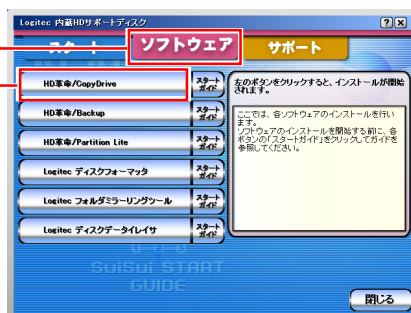
付属の「HD サポートディスク」を DVD/CD ドライブにセットしてください。

1-2

HD サポートツールが起動するので、「ソフトウェア」タブをクリックし、「HD 革命 / CopyDrive」ボタンをクリックしてください。

1. 「ソフトウェア」タブをクリック

2. 「HD 革命 / CopyDrive」をクリック



1-3

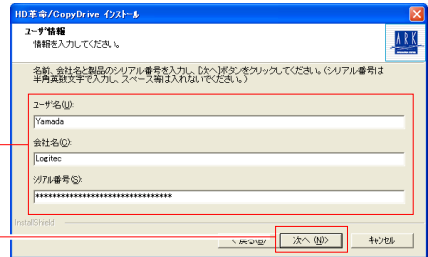
自動的にインストーラが起動しますので、「次へ」をクリックし、この後は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

1-4

インストールの途中に、以下のシリアル番号を含むユーザー情報を入力する画面が表示されます。シリアル番号は半角英数字で入力してください。
ここで入力するシリアル番号は「補足説明」の「シリアル番号について」をご参照ください。

1. ユーザー情報(シリアル番号含む)を入力

2. 「次へ」をクリック

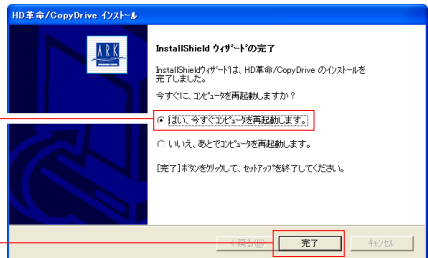


1-5

この後は画面の指示に従ってください。
インストールが完了すると、以下の画面が表示されますので、「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択して、「完了」ボタンをクリックしてください。

1. 「選択」

2. クリック



コンピュータが再起動したら「HD 革命 /CopyDrive」のインストールは完了です。

Step

2

次に、本製品をパソコンに接続します。接続手順は、この後の「接続例」をご参照ください。



ご注意

- このときはまだ、元々パソコンに内蔵されている起動用ハードディスクを取り外さないでください。
- 本製品のジャンパースイッチの設定は、ご使用の環境に合わせて「マスタ」または「スレーブ」に設定します。

Step

3

次に、元々パソコンに内蔵されている起動用ハードディスクのシステムデータを本製品にコピーします。この作業を行うときは、パソコンに接続されている外付けのハードディスクを全て取り外しておいてください。

3-1

元々パソコンに内蔵されている起動用ハードディスクと本製品が接続されている状態で、コンピュータを起動してください。

3-2

「HD 革命 / CopyDrive」を起動します。

「HD 革命 / CopyDrive」は、インストール時にデスクトップに作成されたショートカットアイコンをダブルクリックするか、「スタート」-「(すべての)プログラム」-「HD革命CopyDrive 1.0」-「HD 革命 CopyDrive」と選択して起動します。



このアイコンをダブルクリック

3-3

「HD 革命 CopyDrive」が起動し、右の画面が表示されます。



3-4

ここで、コピー元ハードディスク(通常は「ハードディスク0」になります)をチェックしてください。

残りのハードディスクがコピー先ハードディスクに移動するので、ここで本製品をチェックし、「スタート」ボタンをクリックしてください。

1. コピー元ハードディスク
を選択
2. コピー先ハードディスク
を選択
3. 「スタート」ボタンを
クリック



3-5

コピー内容の確認画面が表示されます。内容を確認して「次へ」ボタンをクリックしてください。



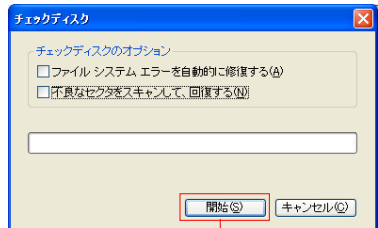
クリック

Point ポイント

コピー元ハードディスクの内容は、同じ容量のまま、コピー先ハードディスクの先頭の領域にコピーされます。また、コピー先ハードディスクの空き領域はここでは操作できません。

3-6

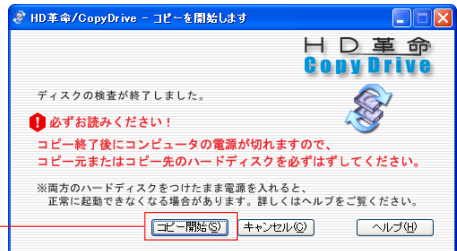
右の画面が表示されますので、「開始」ボタンをクリックしてください。



「開始」ボタンをクリック

3-7

右の画面が表示されますので、「コピー開始」ボタンをクリックしてください。



クリック

3-8

コピーが実行されます。

Windows XP、2000 では、コンピュータが再起動して、コピーが始まります。Windows Me、98 では、現在起動しているプログラムが自動的に終了した後、コピーが始まります。

いずれの場合もコピーが終了するとコンピュータの電源が OFF になります。以上でシステムデータの乗せ換えは終了です。

Windows XP、2000 をご使用の場合は、元々パソコンに内蔵されている起動用ハードディスクドライブを、データ保存用として使用する場合、ドライブ GUID の再設定をする必要があります。詳しくは 20 ページをご参照ください。

Step**4**

システムデータの乗せ換えが完了したら、本製品を起動用ディスクとして使用するための作業を行います。

4-1

システムデータの乗せ換えが完了したら、本製品をプライマリIDEケーブルの「マスタ」につなぎ変えます。

**ご注意**

- ・ジャンパースイッチの設定も必要に応じて変更しておいてください。
 - ・元々パソコンに内蔵されていた起動用ハードディスクドライブは取り外しておきます。(Windows XP/2000環境でこのハードディスクドライブをデータ保存用に使用したい場合は、20ページを参照して、ドライブGUIDの再設定を行ってください。なお、この作業はWindows Me、98では必要ありません)
-

4-2

コンピュータを再起動します。ここで、OSが問題なく起動すれば、システムデータの乗せ換えは成功です。

4-3

次に、本製品の残りの領域をフォーマットします。

Point**ポイント**

- ・「HD革命/CopyDrive」は、元々パソコンに内蔵されていた起動用ハードディスクドライブが使用していた領域分と同じ容量を使用して本製品へデータをコピーしますので、残りの領域は、この時点では未使用領域として残っています。
-

本製品を起動ドライブとして使用している場合、残りの領域は「HD革命/Partition Lite」を使用して行います。付属の「HDサポートディスク」より、「HD革命/Partition Lite」のインストールを行ってください。

インストール時のシリアル番号については、「補足説明」の「シリアル番号について」をご参照ください。

4-4

「HD 革命 /PatitionLite」のインストールが終わったら、デスクトップに登録されるショートカットアイコンをダブルクリックして「HD 革命 /PatitionLite」を起動してください。



ダブルクリック

4-4

「HD 革命 /PatitionLite」を起動すると、以下の画面が表示されます。

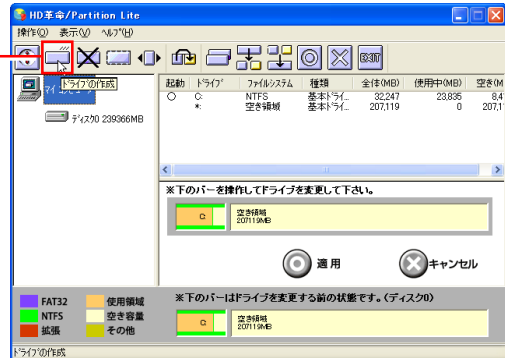
既存のドライブ(C:ドライブなど)のサイズを大きくしたい場合は「ドライブサイズの変更」ボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



空き領域をフォーマットし、新たなドライブを作成したい場合は、「ドライブの作成」ボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



それぞれ、ウィザードが起動するので、画面の指示に従って作業を行います。

なお、詳しい操作方法については「HD 革命 /Patition Lite」のオンラインヘルプまたはオンラインマニュアルをご参照ください。

ドライブGUIDの再設定 (Windows XP、2000のみ)

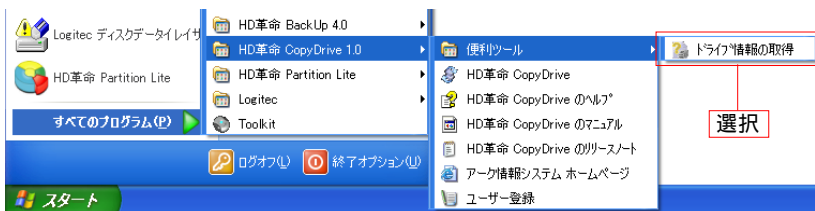
システムデータを乗せ換えた後に、元々パソコンに内蔵されていた起動用ハードディスクドライブをデータ保存用として、別の場所につなぎかえて使用したい場合、以下の手順でドライブGUIDを再設定してください。

Point ポイント

- ・ドライブGUIDの再設定は、元々パソコンに内蔵されていた起動用ハードディスクドライブを、もう使用しない場合は必要ありません。
- ・ドライブGUIDの再設定を行わないで、本製品をマスタに接続しなおし、元々パソコンに内蔵されていた起動用ハードディスクドライブを別の場所に接続して、コンピュータの電源を入れようとすると、同じGUIDを持つハードディスクが2台検出されるため、システムが起動しません。

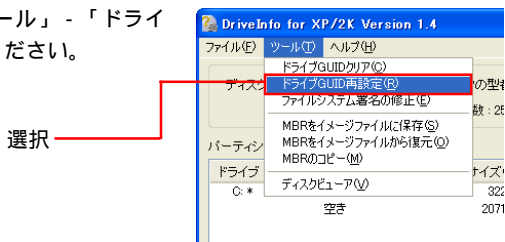
再設定手順

「スタート」ボタン - 「(すべての)プログラム」 - 「HD革命 CopyDrive」 - 「便利ツール」 - 「ドライブ情報の取得」を選択してください。

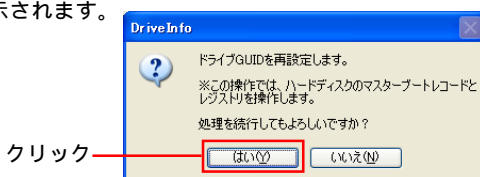


Windows XP での選択例

右の画面が表示されます。「ツール」 - 「ドライブGUID再設定」と選択してください。

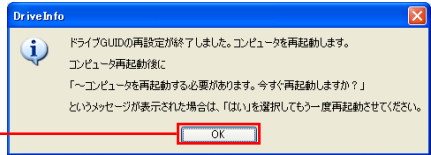


確認のダイアログボックスが表示されます。「はい」をクリックしてください。

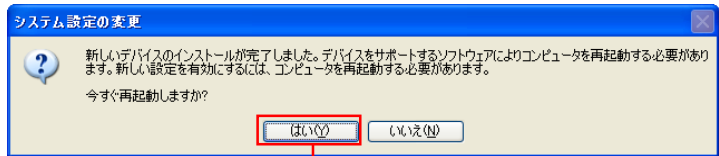


右のメッセージが表示されます。
「OK」ボタンをクリックしてください。

クリック



コンピュータの再起動後、更に以下のメッセージが表示された場合は、再度「はい」ボタンをクリックしてください。



クリック

以上で、ドライブGUIDの再設定は完了です。この後は本製品をマスタに設定し、元々パソコンに内蔵されていた起動用ハードディスクドライブを別の場所につなぎ変えてコンピュータを再起動してください。

接続例

ここでは、一般的なDOS/Vパソコンに本製品を接続する場合の例をご紹介します。
ただし、接続方法はご使用のパソコンにより異なります。具体的な接続手順については
ご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

接続の前に：動作モードの設定

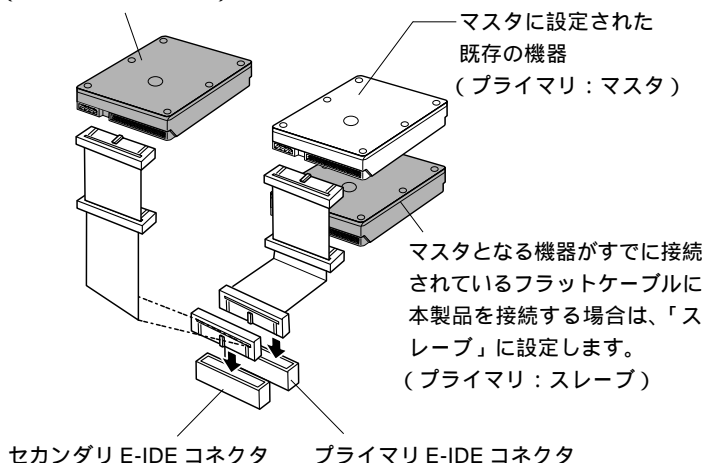
本製品を接続する前に、本製品の動作モード（マスタ/スレーブ/ケーブルセレクト）を設定してください。

本製品のようなATA（E-IDE）対応機器は、1つのATA（E-IDE）コネクタに2台まで接続できますが、その場合、通常、片方をマスタに設定し、もう片方をスレーブに設定しなければなりません。ATA（E-IDE）コネクタが2つ（プライマリ/セカンダリ）ある場合はマスタ/スレーブの組み合わせを2組、合計4台までの機器を接続できます。（下図参照）

ケーブルセレクト対応したパソコン本体と、専用ケーブルを使用している場合、ケーブルセレクト方式でマスタ/スレーブを設定することも可能です。

動作モードの設定はジャンパスイッチなどで行いますが、設定方法が機種によって異なりますので、「補足説明」の「ジャンパスイッチの設定について」をご参照ください。

フラットケーブルに本製品のみを接続する場合は、「マスタ」に設定します。
（セカンダリ：マスタ）



⚠️ ご注意

- ・ 1本のフラットケーブルに2台のATA (E-IDE) 機器を接続する場合、一般的に高速な機器を「マスタ」に、低速な機器を「スレーブ」に設定すると動作が安定します。
- ・ Ultra ATA/66以上の高速データ転送対応のフラットケーブルは、マスタ接続用のコネクタ、スレーブ接続用のコネクタが固定されています。
本製品を「マスタ」に設定した場合は、フラットケーブルの「Master」と書かれたコネクタ(色分けしてある場合は黒色のコネクタ)に接続してください。
本製品を「スレーブ」に設定した場合は、フラットケーブルの「Slave」と書かれたコネクタ(色分けしてある場合は灰色のコネクタ)に接続してください。

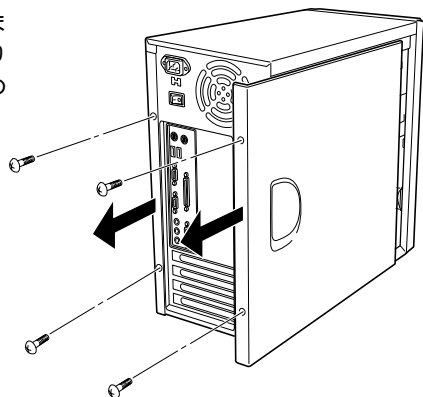
接続の手順

接続手順はパソコン本体によって異なりますので、詳細についてはパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。また、パソコン本体によって取り付けに特殊な金具が必要な機種もありますので、あらかじめ、パソコン本体の取扱説明書で確認してご用意ください。

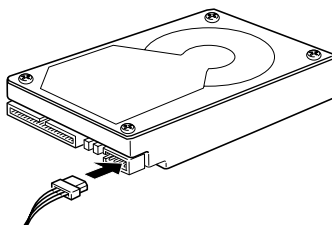
⚡ 重要なご注意

接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源をOFFにして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。接続時に内部ショートが発生すると電源がONになる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

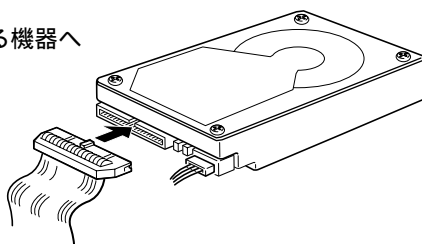
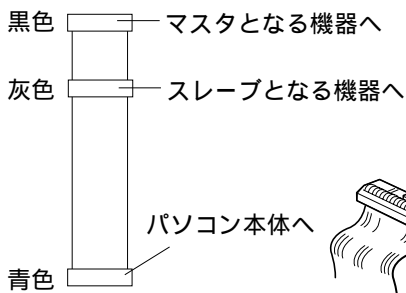
パソコン本体のカバーを取り外します。(右のイラストは一例です。取り外し方法についてはパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。)



パソコン本体の内部電源ケーブルのうち、余っているものを本製品の電源コネクタに接続します。このコネクタは正しい方向でしか接続できない形状になっています。

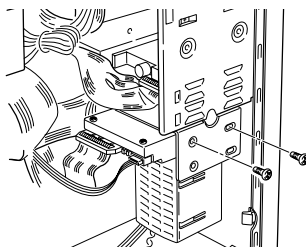


パソコン本体内部のATA (E-IDE) コネクタと、本製品のインターフェースコネクタを、フラットケーブルで接続します。フラットケーブルはパソコン本体にあらかじめ取り付けられたものか、別売ケーブル「CB-F40/66」をご使用ください。

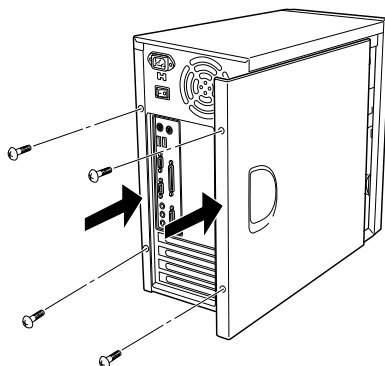


Ultra ATA/66 以上の高速データ転送 対応のフラットケーブルの使い方

本製品をベイに挿入して、付属のネジで固定します。ネジ止めの方法はパソコン本体によって異なりますが、多くの場合、横から止めます。(右のイラストでは省略されていますが、反対側もネジ止めしてください。)



ケーブルなどを挟み込まないように注意して、パソコン本体のフロントパネルとカバーを取り付け、ネジで固定します。



以上で接続は終了です。

増設：ハードディスクのフォーマット方法

ここではハードディスクのフォーマット方法をご使用のOS 毎にご説明いたします。
ご使用のOS に該当する部分をご参照ください。



ご注意

フォーマットを行うと、それまでにハードディスク内に保存されていたデータは、全て消去されます。大切なデータは、必ず、あらかじめバックアップを取っておいてください。

Windows 環境の場合

ここでは、本製品をデータ保存用として新規に接続した場合のフォーマット方法についてご説明いたします。

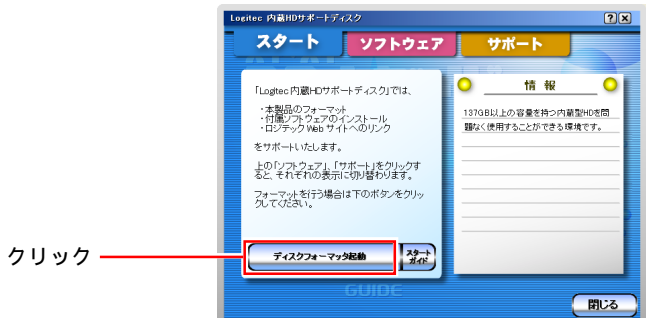
Windows 環境で未フォーマット状態の本製品をフォーマットする場合、それ以外のハードディスクが全てフォーマット済みであることを確認してからはじめてください。

Windows 環境でハードディスクをフォーマットする場合は、付属の「HD サポートディスク」CD-ROM 内の「ディスクフォーマッタ」から行います。

フォーマット手順

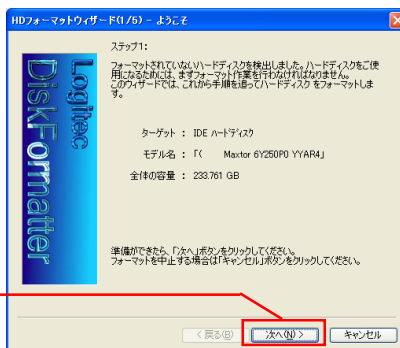
付属の「HD サポートディスク」CD-ROM をパソコンのDVD/CD ドライブにセットしてください。

「HD サポートツール」が起動しますので、「スタート」タブ内の「ディスクフォーマット起動」ボタンをクリックしてください。



「Logitech ディスクフォーマッタ」は未フォーマットのハードディスクを検出すると自動的にHDフォーマットウィザードが起動します。「次へ」をクリックしてください。

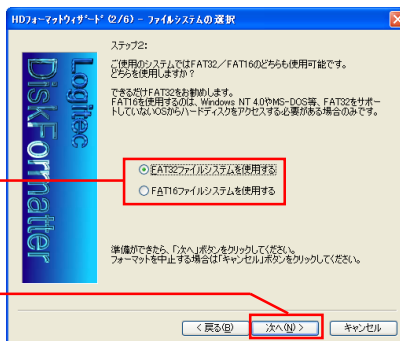
クリック



ファイルシステムの選択画面が表示されます。通常は設定を変更せず「次へ」ボタンをクリックしてください。(この画面が表示されない場合は手順3へお進みください)

選択

クリック



Windows XP、2000 にてご使用

の場合で NTFS でフォーマットをしたい場合、この後の画面で変更できます。

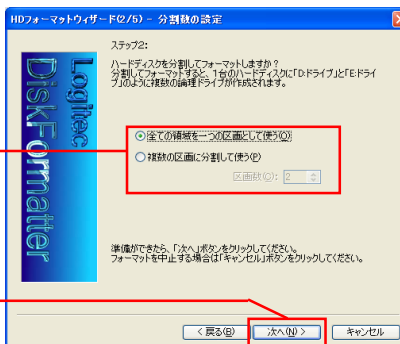
区画の設定画面が表示されます。

- ・ ハードディスクの領域を一つの区画として使用する場合は、「全ての領域を一つの区画として使う」のラジオボタンを ON () にします。
- ・ ハードディスクの領域を複数の区画に分割して使用する場合は「複数の区画に分割して使う」のラジオボタンを ON () にして、「区画数」を設定します。

選択後、「次へ」ボタンをクリックしてください。

選択

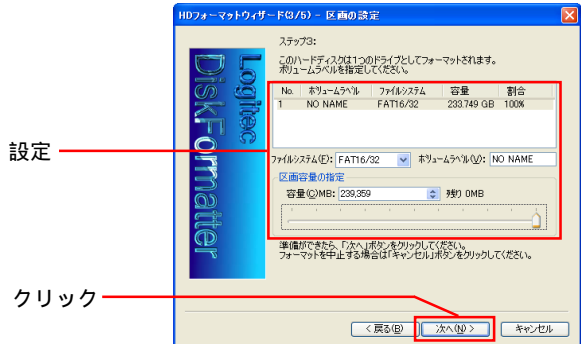
クリック



以下の画面が表示されます。

- ・ 1つの区画としてフォーマットを行う場合は、ボリュームラベルのみ入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。
- ・ 複数の区画に分割してフォーマットを行う場合は、中央の区画の一覧で各区画を選択し、それぞれ「区画容量の指定」で容量を指定します。

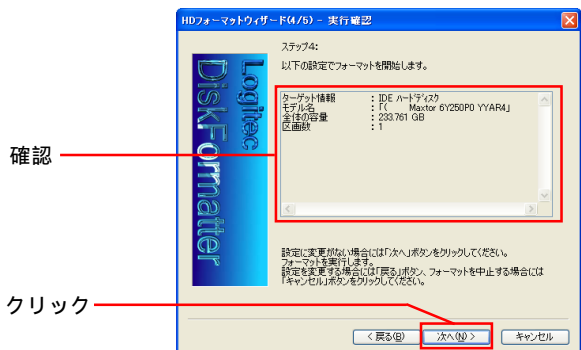
設定後、「次へ」ボタンをクリックしてください。



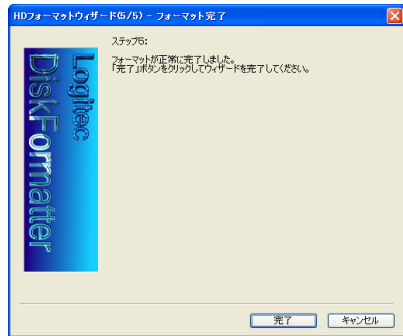
Point ポイント

本製品をWindows XP、2000でご使用になる場合は、上の画面でNTFS形式でフォーマットすることをお勧めします。NTFSはWindows 2000から採用されたファイル形式で、データの信頼度が高く4GBを超えるファイルを扱うことができます。(NTFS形式は、Windows Me、98ではご使用になれません。)

設定内容の確認画面が表示されます。内容確認後「次へ」ボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行され、終了すると以下の画面が表示されます。



Windows XP、2000では、「完了」ボタンをクリックしてください。これでハードディスクドライブが使用可能となります。マイコンピュータを開くと新しいハードディスクドライブのアイコンが追加されています。

Windows Me、98をご使用の場合は、上の画面内にコンピュータの再起動を促すメッセージが表示されますので、「はい、今すぐコンピュータを再起動します」のラジオボタンをON () にして、コンピュータを再起動してください。

再起動後、ハードディスクが使用可能となります。マイコンピュータを開くと新しいハードディスクドライブのアイコンが追加されています。

Point ポイント

- ・「Logitec ディスクフォーマッタ」は、既にフォーマット済みの領域を再フォーマットすることもできます。また、「HD サポートツール」の「ソフトウェア」タブからインストールして使用することもできます。
- ・「Logitec ディスクフォーマッタ」の使用方法については「Logitec ディスクフォーマッタ」に付属のユーザズガイド (PDF) をご参照ください。
- ・この他にOS標準のフォーマット機能を使用してフォーマットすることも可能です。OS標準のフォーマット機能の実行方法はWindowsのヘルプファイルをご参照ください。

Mac OS X 環境の場合

Mac OS X 環境ではハードディスクのフォーマットには Mac OS X 標準のフォーマットソフトウェア「ディスクユーティリティ (Disk Utility)」を使用します。

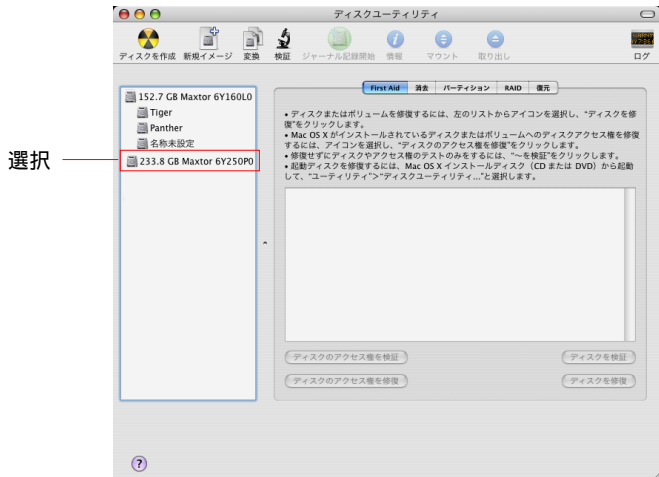
本製品をはじめて接続すると、「セットしたディスクはこのコンピュータで読み取れないディスクでした。」というメッセージウィンドウが表示されます。ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックしてください。



表示されるメッセージは OS のバージョンにより異なります。

「ディスクユーティリティ」が起動しますので、左側の欄で本製品を選択してください。

未フォーマットのハードディスク(この場合は本製品)は、単一のドライブだけの構成になります。容量表示と合わせて、本製品を特定してください。



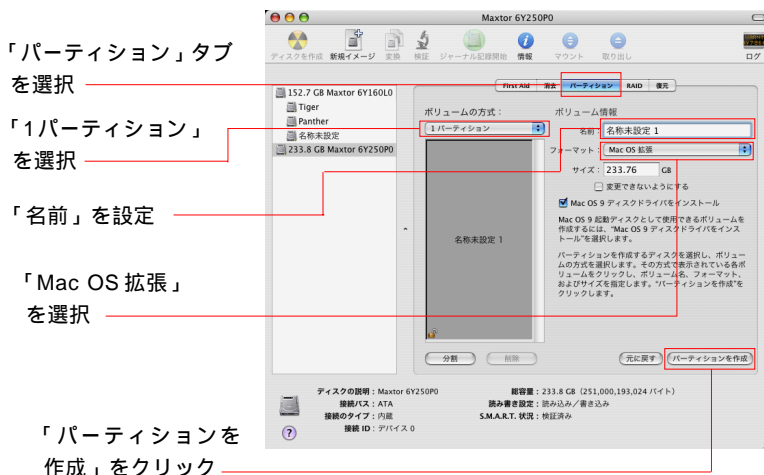
⚠️ ご注意

- すでにご使用の他のドライブを選択しないように十分ご注意ください。

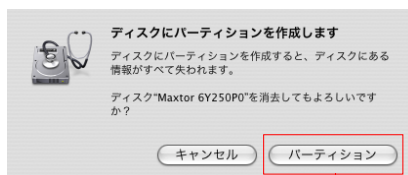
次に右の欄で、「パーティション」タブを選択し、以下のように設定してください。

- ・「ボリュームの方式」を1パーティションに設定します。
- ・「名前」に任意の名前を設定します。
- ・「フォーマット」を「Mac OS 拡張」に設定します。

上記3点の設定を行ったら「パーティションを作成」ボタンをクリックします。



確認のメッセージウィンドウが表示されますので「パーティション」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。



フォーマット完了すると、デスクトップにハードディスクのアイコンが新しく追加されます。これが本製品のアイコンです。(アイコンの下に「名前」の欄で付けた名前が表示されます)



！ ご注意

Mac OS 9 環境でもご使用になる場合は、名前の下にある「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックボックスにチェックを入れてください。ただし、このチェックボックスは Mac OS X のみ搭載モデルの場合、表示されない場合があります。

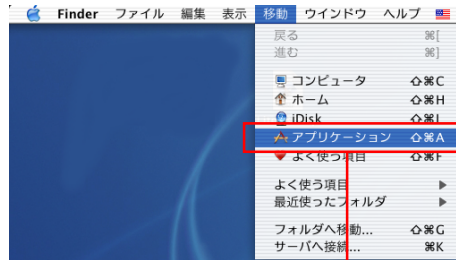
Point ポイント

- ・フォーマットは「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧 Mac と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。
- ・Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 の環境では、フォルダ名やウィンドウ名に「Application」、「Utilities」等、一部アルファベットが使用されています。

参考：ディスクユーティリティの起動方法

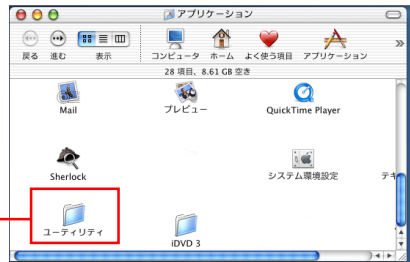
本製品を再フォーマットしたい場合等に、ディスクユーティリティを起動する方法は以下をご参照ください。

メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択してください。



選択

「アプリケーション」ウィンドウが表示されます。ここで「ユーティリティ」フォルダをダブルクリックしてください。



ダブルクリック

「ユーティリティ」フォルダの一覧の中から、「ディスクユーティリティ」をダブルクリックしてください。

ダブルクリック

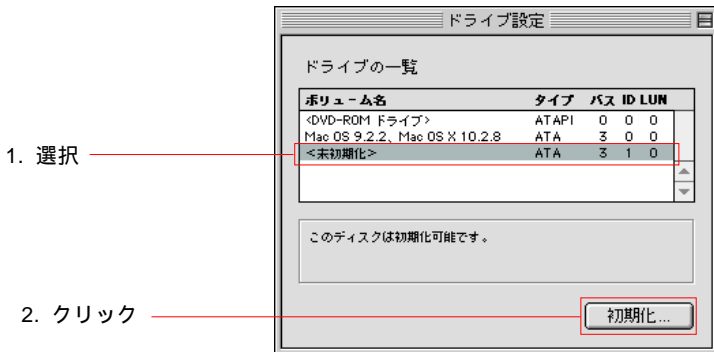


Mac OS 9 環境の場合

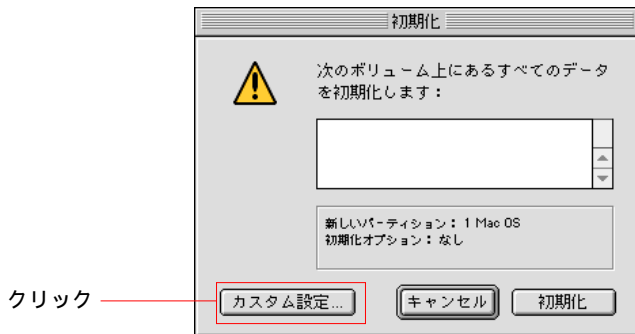
Mac OS 9 環境ではハードディスクのフォーマットは「ドライブ設定」より行います。

本製品を接続後、デスクトップ上で起動ボリュームを開き、「Application (Mac OS 9)」フォルダ - 「ユーティリティ」フォルダ - 「ドライブ設定」フォルダと選択し、「ドライブ設定」のアイコンをダブルクリックしてください。

「ドライブ設定」ウィンドウが表示されますので、<未初期化>と表示されている項目を選択し、「初期化」ボタンをクリックしてください。



「初期化」ウィンドウが表示されますので、「カスタム設定」ボタンをクリックしてください。



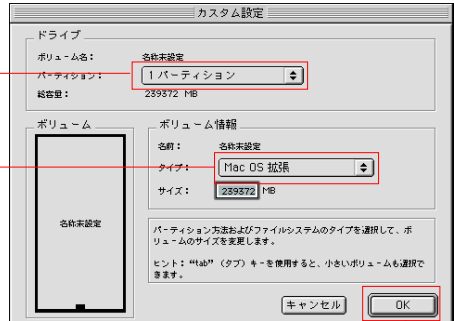
ハードディスクをパソコンに接続して使用する

「カスタム設定」ウィンドウが表示されますので、パーティションを「1パーティション」に設定し、「タイプ」の欄で「Mac OS 拡張」を選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 「1パーティション」を選択

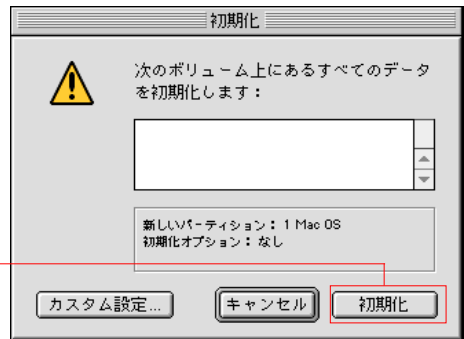
2. 「Mac OS 拡張」を選択

3. 「OK」をクリック



再度「初期化」ウィンドウに戻りますので、「初期化」ボタンをクリックしてください。初期化が実行されます。

クリック



初期化が完了すると、右のようなハードディスクのアイコンがデスクトップにマウントされます。



Point ポイント

- ・フォーマットは「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧 Mac と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

補足説明

付属ソフトウェアについて

本製品にはWindows環境に対応した以下のソフトウェアを付属しています。ここではそれぞれのソフトウェアの特長についてご説明いたします。

なお、それぞれのソフトウェアの使用方法については、ソフトウェアに付属のオンラインマニュアルなどをご参照ください。

HD 革命
Copy Drive

ハードディスクの内容を別のハードディスクに丸ごとコピーすることができるユーティリティソフトです。

HD 革命
Back Up

Windowsの画面から、マウスの操作だけで、システムを含むハードディスクの情報を丸ごと圧縮してバックアップを取ることができるバックアップソフトです。システムの復元もマウスの操作で行うことができます。

HD 革命
Partition Lite

マウスの操作だけで簡単にドライブサイズの変更、作成、削除を行えるパーティション管理ユーティリティです。

HD革命シリーズのお問合せ先については「株式会社アーク情報システム」までお願いします。お問合せ先は以下をご参照ください。

連絡先

株式会社アーク情報システム ユーザーサポート係

TEL 03-3234-9251 祝祭日・当社休業日を除く月～金曜日10:00～12:00/13:00～17:00

FAX 03-3234-9252 24時間受付

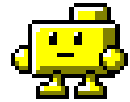
E-mail : kakumei@ark-info-sys.co.jp

HomePage : http://www1.ark-info-sys.co.jp/

オンラインマニュアル内に「ユーザーサポート申込書」が含まれておりますのでご利用ください。



パソコン内のデータをフォルダやファイル単位でバックアップすることのできるソフトウェアです。特定のフォルダに対してバックアップの設定を行うので、重要なデータだけをバックアップすることが可能です。



ハードディスクのフォーマットや、フォーマット情報の削除、パーティションの作成など、フォーマットに関する便利な設定を簡単な操作で行うことができます。



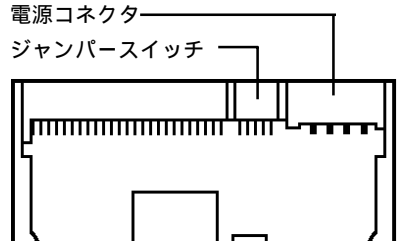
「Logitech ディスクデータイレイサ」は、ディスク内に保存されているデータを完全に消去するソフトウェアです。ハードディスクやMOメディアを破棄する際に、情報の漏洩を防ぐために使用します。フォーマット情報も含めて、ディスクの全領域にランダムなデータを上書きするため、ディスク内の情報を完全に消去することが可能です。データは完全に消去されるため、復旧することはできません。使用する際には、十分な注意が必要です。

Logitech 製ソフトウェアへのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートまでお願いします。お問合せ先は本書巻末をご参照ください。

ジャンパースイッチの設定について

本製品をパソコンに接続する前に下表のジャンパープラグ設定に従って本製品をマスタもしくはスレーブに設定してください。

ケーブルセレクトに対応したパソコン本体と専用ケーブルを使用している場合、ケーブルセレクト方式でマスタ/スレーブを設定することも可能です。



シリアル番号シール



タイプ表示

設定一覧

ご購入の機種の種類タイプに該当する部分を参照してジャンパープラグの設定を行ってください。

タイプ	A	B	C
マスタに固定する場合	電源コネクタ	電源コネクタ	電源コネクタ
スレーブに固定する場合	電源コネクタ	電源コネクタ	電源コネクタ
ケーブルセレクトの場合	電源コネクタ	電源コネクタ	電源コネクタ

タイプ	D	E
マスタに固定する場合	電源コネクタ	電源コネクタ
スレーブに固定する場合	電源コネクタ	電源コネクタ
ケーブルセレクトの場合	電源コネクタ	電源コネクタ

1台だけ接続する場合	電源コネクタ
------------	--------

= ジャンパープラグをセットする位置

移動できないプラグが配置されている場合があります。

上記以外のジャンパープラグは出荷時設定のままでご使用ください。余ったジャンパープラグは大切に保管してください。

出荷時は、マスタまたはケーブルセレクトに設定されています。

ハードウェア仕様

機種名		LHD-DA500AK	LHD-DA400AK	LHD-DA300AK
記憶容量 *1		約 500 GB	約 400 GB	約 300 GB
ディスク回転数		7,200 rpm		
インターフェース		UltraATA/100 (E- IDE)		
環境条件 *2	動作時	温 度	5 ~ 35 *3	
		相対湿度	20% ~ 80%	
	保管時	温 度	- 10 ~ 50	
		相対湿度	10% ~ 90%	
入力電圧		DC +5V ± 5% DC +12V ± 5%		
消費電力 (定格)		13.0 W		
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		102 × 26 (以下) × 146 mm		
質 量		690 g 以下		600 g 以下

機種名		LHD-DA250AK	LHD-DA160AK	LHD-DA120AK
記憶容量 *1		約 250 GB	約 160 GB	約 120 GB
ディスク回転数		7,200 rpm		
インターフェース		UltraATA/100 (E- IDE)		
環境条件 *2	動作時	温 度	5 ~ 35 *3	
		相対湿度	20% ~ 80%	
	保管時	温 度	- 10 ~ 50	
		相対湿度	10% ~ 90%	
入力電圧		DC +5V ± 5% DC +12V ± 5%		
消費電力 (定格)		13.0 W		
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		102 × 26 (以下) × 146 mm		
質 量		600 g 以下		

*1 1GB=1000MB で計算しています。使用する OS やフォーマットの状態によって容量は異なります。

*2 ただし、結露なきこと。

*3 ただし、パソコン本体の温度条件を満たしていること。

機種名		LHD-DA80AK	LHD-DA40AK
記憶容量 *1		約 80 GB	約 40 GB
ディスク回転数		7,200 rpm	
インターフェース		UltraATA/100 (E-IDE)	
環境条件 *2	動作時	温度	5 ~ 35 *3
		相対湿度	20% ~ 80%
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10% ~ 90%
入力電圧		DC +5V ±5% DC +12V ±5%	
消費電力 (定格)		12.0 W	
外形寸法 幅×高さ×奥行き		102×26 (以下) ×146 mm	
質量		600 g 以下	

*1 1GB=1000MB で計算しています。使用する OS やフォーマットの状態によって容量は異なります。

*2 ただし、結露なきこと。

*3 ただし、パソコン本体の温度条件を満たしていること。

Memo

Memo

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ハードディスクを廃棄する場合

ご使用のハードディスクを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

なお、弊社では、ハードディスク上のデータを電氣的に強磁気破壊方式（ ）により完全に消去するサービスを有償にて行っております。重要なデータを消去後に廃棄する場合などにご利用ください。

磁気記録装置に強磁界を印加し、物理破壊を伴わずに磁気データを破壊します。磁気ヘッドを制御するためのサーボ情報や駆動用のマグネットの磁気も消去しますので、ディスクを再利用することはできません。

データ消去サービスの詳細については、弊社ホームページ（<http://www.logitec.co.jp>）をご参照ください。また、お問合せは、下記窓口までお願い致します。

（技術的なお問合せは弊社テクニカルサポートにお願いします。）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 ロジテックサポートソリューション

データ消去サービス係 5番受入口

TEL：0265-74-1423 / FAX：0265-74-1403

参考

付属の「HDサポートディスク」CD-ROM内に収録されている、「ディスクデータイレサ」(Windows環境のみ)を使用することで、ハードディスク上のデータを全て消去する事ができます。消去後に再フォーマットすることにより再利用が可能です。消去されたデータは、パソコンでは読み取り不能となります。ただし、ソフトウェアによる消去の場合、専門機関等の特殊な環境でもデータが復元されないことを、保証するものではありません。

保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は最新の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称 / シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」「故障の状態」を書面に添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積りもりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 修理サポートセンター（3番受入窓口）

TEL : 0265-74-1423 FAX : 0265-74-1403

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス（ ）等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えが手元に残る方法でお送りいただきますよう、お願いいたします。

Logitec 内蔵型ハードディスク・ユーザーズマニュアル LHD-DAAK

2005年 12月改訂 LHD-DAAK V03

製造元：ロジテック株式会社